

実効性の高い学校評価・情報提供の充実・改善に向けた取組事業 実践研究のまとめ【概略版】

教育委員会名	大仙市教育委員会
研究課題	B. 保護者や地域住民など学校関係者との連携、協働の推進に関する実践研究
研究のねらい	<p>本市では、太田地域を研究指定地域(研究拠点校：太田南小学校)とし、保護者や地域住民などの学校関係者との連携、協働を一層推進するため、以下の実践研究を進めた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「コラボ・スクール推進委員会(以下、C・S推進委)」による、実効性の高い学校関係者評価(あきた型学校評価)についての実践研究 2 域内小・中学校の共通課題解決に向けた連携・協働についての実践研究 3 効果的な情報提供の在り方についての実践研究
研究の概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 C・S推進委による、実効性の高い学校関係者評価(あきた型学校評価)について(拠点校研究) <ol style="list-style-type: none"> ① C・S推進委の当事者意識を高めるため、学校運営等への意見具申にとどまらず、自ら「地域サポーター」となり「コラボ(連携・協働)」推進の実行機関の機能を持たせた。 ② C・S推進委による学校関係者評価(あきた型学校評価)フロー <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>重点課題1 学力の向上 — スクールマニフェストに成果指標設定</p> <p>重点課題2 公の場での意見表出</p> <p>自己評価(前期・年度)</p> <p>C・S推進委による学校関係者評価</p> <p>改善策の策定</p> </div> 2 域内小・中学校の共通課題解決に向けた連携・協働について(指定地域研究) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>各校の学校教育目標 — 目指す児童生徒像 — 課題1 — 各校単独の重点克服課題</p> <p>課題2 —</p> <p>課題3 — 太田地域小・中学校の共通課題</p> <p>太田地域小・中学校の協働で課題解決を目指す ⇒ 学校評価共通評価項目 公の場での意見表出</p> <p>他から刺激を受ける、人に揉まれる、切磋琢磨する経験の不足 →これらの経験の拡充をとおして・・・</p> <p>☆根拠をもとに、自分の意見や考えをしっかりと述べる児童生徒の育成</p> <p>共通課題解決のための協働型アクションプラン実施</p> </div> 3 効果的な情報提供の在り方についての実践研究(拠点校研究) <p>メディアミックスによる情報提供⇒紙媒体(チラシ・リーフレット等)、電子媒体(HP等)による情報提供/フォーラム・報告会の開催/フリー学習参観週間「みんなの登校日」の実施</p>
研究の成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 「あきた型学校評価システム」を導入し、目標の重点化と数値化を図り、スクールマニフェストに示して学区内に周知(全戸配布)したことにより、学校内外で到達すべき目標を共有することができた。 2 C・S推進委に「意見具申」と「実行機関」の機能を併せ持たせた結果、委員の当事者意識が高まり、学校関係者評価の実効性が高まった。 3 目標を重点化・数値化し、教職員の人事評価システムにおける自己目標とも連動させたことにより、教職員のチームワーク(組織職)が高まった。 4 中学校区で「学校評価共通項目」を設定し、また学校関係者評価委員の一部が、小・小または小・中を兼務しながら学校評価を行ったことにより、小・中9年間を見通した協働型アクションプランの立案・実施が可能になり、共通課題に改善が見られた。 5 紙媒体、電子媒体、フォーラム・報告会、新聞・テレビ等によるメディアミックスの手法により、域内に効果的に情報提供することができた。
本件問い合わせ先	<p>大仙市教育委員会教育指導課教育研究所 TEL: 0187-63-9400 FAX: 0187-63-9401 E-mail: om-kyouken@edu.city.daisen.akita.jp</p>